



国際ロータリー第2650地区
社会奉仕委員会
2025-26 年度事業報告集

国際ロータリー第2650地区
2025-26 年度
社会奉仕委員会

ご 挨 拶

このたび、2025-26 年度 国際ロータリー第 2650 地区社会奉仕委員会において、地区内クラブの皆さまが一年間にわたり取り組まれた社会奉仕事業を、一冊の報告集としてまとめることができました。ご多忙の中、事業報告書をご提出いただきました各クラブの社会奉仕委員長をはじめ、会員の皆さまに心より御礼申し上げます。

本年度、当地区は小崎学ガバナーのもと「未来へつなぐ」を基本方針に掲げ、それぞれのクラブが地域の課題に真摯に向き合いながら、多様な社会奉仕活動を実践されました。社会奉仕とは、目の前の課題を解決するだけでなく、人と人とのつながりを育み、地域に希望をもたらし、その想いを次の世代へ受け継いでいく活動でもあります。私たちロータリアンが積み重ねてきた奉仕の精神は、多くの人々との出会いを通して地域社会に根付き、未来へとつながっていく大きな力になると確信しております。

本報告集には、地域福祉、環境保全、防災支援、文化・伝統の継承、青少年育成、など、多岐にわたる活動が収録されています。それぞれの事業には、地域を想う温かい心と、会員の皆さまの行動力、そしてクラブの創意工夫が込められており、一つひとつが未来への架け橋となる素晴らしい実践であると感じております。

この報告集が、各クラブの今後の奉仕活動の参考となるとともに、新たな発想やクラブ間の交流を生み、さらなる社会奉仕の発展へとつながることを願っております。

結びに、この一年間、地域社会のために情熱を持って活動を続けてこられた各クラブの皆さまに深く敬意を表しますとともに、ご協力いただきましたすべての会員の皆さまに心より感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー第 2650 地区
2025-26 年度 社会奉仕委員会

諮問委員	佐竹 力總 (京都 RC)				
パストガバナー					
委員長	宮倉 靖幸 (五條 RC)				
副委員長	桐木 孝和 (京都洛西 RC)	副委員長	小牧 靖彦 (京丹後 RC)		
委員	藤井 弘美 (近江八幡 RC)	委員	市原 洋晴 (宇治 RC)		
委員	木村 元 (長浜東 RC)	委員	松村 美貴 (福井フェニックス RC)		
委員	大島 國裕 (奈良 RC)	委員	寺本 光宏 (福井 RC)		
委員	八木 悠祐 (京都北 RC)	委員	山崎 功詔 (京都西 RC)		

目次

【京都府】

綾部ロータリークラブ	…	1
福知山ロータリークラブ	…	3
福知山西南ロータリークラブ	…	なし
亀岡ロータリークラブ	…	4
亀岡中央ロータリークラブ	…	5
京丹後ロータリークラブ	…	6
京都ロータリークラブ	…	7
京都伏見ロータリークラブ	…	9
京都平安ロータリークラブ	…	10
京都東ロータリークラブ	…	11
京都東山ロータリークラブ	…	12
京都北東ロータリークラブ	…	13
京都イブニングロータリークラブ	…	14
京都城陽ロータリークラブ	…	15
京都桂川ロータリークラブ	…	16
京都北ロータリークラブ	…	17
京都南ロータリークラブ	…	18
京都モーニングロータリークラブ	…	20
京都紫野ロータリークラブ	…	21
京都中ロータリークラブ	…	24
京都西ロータリークラブ	…	25
京都乙訓ロータリークラブ	…	なし
京都洛中ロータリークラブ	…	26
京都洛北ロータリークラブ	…	27
京都洛南ロータリークラブ	…	33
京都洛西ロータリークラブ	…	34
京都洛東ロータリークラブ	…	35
京都嵯峨野ロータリークラブ	…	なし
京都さくらロータリークラブ	…	36
京都西北ロータリークラブ	…	38
京都西南ロータリークラブ	…	42
京都紫竹ロータリークラブ	…	43
京都朱雀ロータリークラブ	…	44
京都田辺ロータリークラブ	…	46
京都山城ロータリークラブ	…	47
京都八幡ロータリークラブ	…	48
舞鶴ロータリークラブ	…	49
舞鶴東ロータリークラブ	…	50
宮津ロータリークラブ	…	なし
園部ロータリークラブ	…	53

宇治ロータリークラブ	…	58
宇治鳳凰ロータリークラブ	…	56
【福井県】		
福井ロータリークラブ	…	57
福井あじさいロータリークラブ	…	58
福井フェニックスロータリークラブ	…	59
福井東ロータリークラブ	…	60
福井北ロータリークラブ	…	64
福井南ロータリークラブ	…	65
福井西ロータリークラブ	…	67
福井水仙ロータリークラブ	…	68
勝山ロータリークラブ	…	69
丸岡ロータリークラブ	…	70
三国ロータリークラブ	…	71
大野ロータリークラブ	…	72
鯖江ロータリークラブ	…	73
武生ロータリークラブ	…	74
武生府中ロータリークラブ	…	77
敦賀ロータリークラブ	…	78
敦賀西ロータリークラブ	…	85
若狭ロータリークラブ	…	87

【滋賀県】

びわ湖八幡ロータリークラブ	…	89
五個荘能登川ロータリークラブ	…	90
東近江ロータリークラブ	…	92
彦根ロータリークラブ	…	93
彦根南ロータリークラブ	…	94
甲賀ロータリークラブ	…	95
湖南ロータリークラブ	…	96
草津ロータリークラブ	…	97
守山ロータリークラブ	…	98
長浜ロータリークラブ	…	なし
長浜東ロータリークラブ	…	100
長浜北ロータリークラブ	…	101
近江八幡ロータリークラブ	…	102
大津ロータリークラブ	…	103
大津中央ロータリークラブ	…	104
大津東ロータリークラブ	…	105

大津西ロータリークラブ	…	106
栗東ロータリークラブ	…	107
高島ロータリークラブ	…	108
野洲ロータリークラブ	…	109
八日市南ロータリークラブ	…	111

【奈良県】

あすかロータリークラブ	…	114
五條ロータリークラブ	…	115
平城京ロータリークラブ	…	なし
橿原ロータリークラブ	…	116
奈良ロータリークラブ	…	117
奈良中央ロータリークラブ	…	120
奈良東ロータリークラブ	…	121
奈良西ロータリークラブ	…	122
奈良大宮ロータリークラブ	…	123
桜井ロータリークラブ	…	124
大和郡山ロータリークラブ	…	125
やまとまほろばロータリークラブ	…	126
やまと西和ロータリークラブ	…	127
大和高田ロータリークラブ	…	129

【Eクラブ】

日本ロータリーEクラブ2650	…	なし
-----------------	---	----

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 徳山真也

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	七夕飾り寄贈				
実施日	2025年6月28日～2026年7月12日		↑継続事業の場合	18	年
実施場所	近江八幡市立総合医療センター				
協力団体					
参加人数	会員	53	名	→→ 会員参加率	82 %
	市民	多数	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	短冊に、入院・来院患者さんやご家族、また医療従事者の方々へ向けた励ましや願い事を記し、心の癒しや励みにしていただく事を本事業の目的とします。				
事業結果	当クラブメンバーにも短冊に願いを記してもらい、事前にご記入いただいた医療従事者の短冊とともに事前飾りつけを行い同センターに設営・寄贈を行うと、この期間内に患者様・ご家族からも続々と願いを綴った短冊が1500枚を超える規模となり、患者様や医療従事者様に少なからずとも心のよりどころになれたのではないかと思います。また、事業最終日（撤収時）には佐橋会員（領善寺）にてご祈祷を行っていただき、皆様の祈願成就が叶いますようお願いをさせていただきました。社会奉仕委員会メンバーをはじめ多くの有志メンバーには、設営から撤去までご協力いただいたことに感謝いたします。				
   					
新聞、TV等での報道	報知新聞  				
事業予算	32,000	円			
事業執行額	28,348	円			
この事業の主な財源	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 徳山真也

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	JR近江八幡駅前北口広場イルミネーション飾り事業		
実施日	2025年11月22日～2026年1月30日	↑継続事業の場合	11 年
実施場所	JR近江八幡駅前北口広場		
協力団体	ヴォーリス学園インターアクトクラブ		
参加人数	会員 46 名 → 会員参加率 71 %		
	市民 多数 名		
	その他 近江兄弟社高校吹奏楽部		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

(事業目的) 駅前広場でイルミネーション飾りを行い、地域活性化を目指す。
 (事業内容) 本年度はヴォーリス学園インターアクトクラブの生徒たちが、「夢」をテーマにデザインし、びわ湖八幡ロータリークラブと共に企画・作成を行いました。

事業結果

たくさんのインターアクト生やクラブメンバーに参加していただき当日の飾り付けだけでなく事前準備から一緒に作業し交流も深まったと思います。点灯式では電飾に包まれながらヴォーリス学園の吹奏楽部による演奏でより駅前を飾る事ができました。地域の方も「毎年楽しみにしている」「綺麗で嬉しい」などのお声を頂き事業目的の地域活性化に繋がったと思います。また今年も近江八幡市長にご参加いただき恒例事業としての認識も向上したと思います。



新聞、TV等での報道

中日新聞／報知新聞



事業予算	700,000	円
事業執行額	553,497	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員会委員長
 氏 名 : 西 崎 彰
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血運動		
実施日	2026年5月18日	↑継続事業の場合	45 年
実施場所	アズイン東近江能登川駅前		
協力団体	滋賀県赤十字血液センター		
参加人数	会員 15 名 → 会員参加率 46 % 市民 40 名 その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	〈目的〉 献血者は少なく、血液が大変不足しているため実施する。 〈内容〉 赤十字血液センターの協力事業として、クラブ創立当時から実施している。折込チラシやInstagramで告知し、献血に協力して頂く。また、会員も献血に協力する。来て頂いた方に骨髓バンクへのドナー登録のお声がけをする。		
事業結果	総受付者数：40名（献血者数：36名 不採血者数：4名） 多くの方にご協力いただきました。 「けんけつちゃん」も登場し、献血運動のPRを行いました。   		
新聞、TV等での報道	新聞折り込みで宣伝をする。		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	43,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 小嶋 大記

担当委員会名 : 社会・青少年奉仕委員会

事業名	未来につなげる支援の「わ」		
実施日	2025年8月20日から2026年5月31日	↑継続事業の場合	2 年
実施場所	滋賀県東近江市八日市町12 太子ホール		
協力団体	おてんとさん、八日市南高校		
参加人数	会員 35 名	→→ 会員参加率 85 %	
	市民 10 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	子ども食堂の周知により、支援者や支援企業を増やし、食堂にやってくる子供たちへ安心できる場所を決まった曜日に必ず提供できるよう、おてんとさんの活動を応援する。そのため食堂で使用する電化製品の一部を提供、食材の支援、食堂でのイベント開催を高校生ボランティアに協力要請した。		
事業結果	前年度事業にて設けたキッチンスペースを活用し、地元高校生と共同で子ども食堂の企画開催をし、より多くの地域住民に子ども食堂の存在意義を訴えられた。 また、子ども食堂開催の維持継続により、地域の子どもたちとそのご家族の支援、埋もれている支援対象児やそのご家族へ目を配ることができた。   		
新聞、TV等での報道	滋賀報知新聞、スマイルネット		
事業予算	694,490	円	
事業執行額	694,490	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役	職	:	委員長
	氏	名	:	大舘 康伸
	担	当	委	員
	会	名	:	社会奉仕委員会

事業名	「フリースクールに通う子供 学生を対象としたびわ湖岸清掃 クルージング体験およびヨットスクール支援」事業			
実施日	25/7/21 他	↑ 継続事業の場合	年	
実施場所	びわ湖岸 小松原			
協力団体	彦根セーリング協会 てだのふあ 滋賀県立大学 近江高等学校			
参加人数	会員	40 名	→→ 会員参加率	80 %
	市民	100 名		
	その他			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他			
事業目的及び事業内容	(事業目的) 彦根に暮らす青少年にヨットを通じてびわ湖に親しんでもらう (事業内容) ①7/21 海の日に今回フリースクール「でだのふあ」の子ども達と地元の大学生 高校生と協 しびわ湖清掃及び ヨット競技関係者にご協力をいただきヨットクルージング体験の実施 ②彦根市民がヨットを親しむ拠点作りをおこない、少年ヨット教室の開催(年間20回)支援			
事業結果	①びわ湖岸清掃 クルージング体験 当日晴天にも恵まれ、子供 学生 関係者 ロータリーメンバーに参加していただき、盛況の中、 事業を行うことができました。 ②ヨット教室開催 彦根市広報にて参加者を募り 教室を開催することができました。 2025年8月3日(日) より 20回 実施 (実施の様子)写真貼付   			
新聞、TV等での報道	ケーブルテレビ ZTV しが彦根新聞 彦根文化新聞			
事業予算	820,000	円		
事業執行額	820,000	円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他			

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 尾崎 雄

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	わたSHIGA輝く国スポ・障スポを盛り上げる彦根駅西口柱巻看板装飾設置事業			
実施日	2025年 8 月 1 日 ~2025年 10月31日		↑継続事業の場合	年
実施場所	JR彦根駅西口			
協力団体	彦根市スポーツ部			
参加人数	会員	54	名 →→ 会員参加率	100 %
	市民		名	
	その他	25,000名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他			

事業目的及び事業内容

46年ぶりに滋賀県で開催される「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」において、メイン会場の一つである彦根市を訪れる選手・大会関係者・観戦客を歓迎するとともに、大会開催の機運醸成と地域の一体感の向上を図ることを目的として実施した。

クラブ内に準備委員会を設置し、歓迎事業について協議を重ねた結果、来訪者の多いJR彦根駅西口への柱巻き看板設置を決定した。彦根市と連携しながらデザインや設置場所の調整を行い、歓迎メッセージを掲載した柱巻き看板を制作・設置した。

事業結果

JR彦根駅西口という多くの人が利用する場所に看板を設置することで、大会開催の周知と歓迎ムードの醸成に寄与することができた。また、全国から訪れた選手・関係者・観戦客に対して地域を挙げて歓迎する姿勢を示すことができ、地域住民の大会への関心向上にもつながった。



事業予算	1,020,380	円
事業執行額	1,020,380	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 平井 陽介
 担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	第16回 甲賀市ユースプラスフェスティバル		
実施日	2026年5月31日(日)	↑継続事業の場合	16 年
実施場所	あいこうか市民ホール		
協力団体	甲賀市・甲賀市教育委員会		
参加人数	会員 21 名 → 会員参加率 72 %		
	市民 450 名		
	その他 250名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	今回で16回目を迎える、甲賀市と日野町の中学生吹奏楽部の演奏会です。甲賀市と日野町と合同で行うことで、学校や地域を超えた交流の場の一助になっております。今回は甲賀ロータリークラブの青少年奉仕事業と共同開催としました。 1部では地域の中学生吹奏楽部による各学校の演奏会を行いました。 2部では青少年奉仕事業として京都橘高校吹奏楽部による演奏を見て頂きました。		
事業結果	1部では、日頃の努力の発表の場として、各学校・子供たちが素晴らしい演奏を披露されました。緊張しながら演奏している姿、やり遂げた後の笑顔を見たときに子供達の成長を感じることができました。青少年奉仕事業と共同開催した2部では、京都橘高校吹奏楽部にお越し頂きました。 音楽に真摯に取り組む姿勢、意識を見て頂くことで、子供たちの音楽への興味がさらに高まり、次へのステップを生み出す力を育むことができました。 京都橘高校吹奏楽部をみつめる中学生吹奏楽部の皆さんの目の輝きから、これからの更なる伸びしろを期待することができました。今後、音楽と若い力を通じて地域に活力を与えてくれると確信しました。		
 			
新聞、TV等での報道	ケーブルテレビあいコムこうか		
事業予算	200,000	円	
事業執行額	200,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 田中憲司

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	国スポおもてなし事業				
実施日	令和7年9月29日（月）	↑継続事業の場合	年		
実施場所	湖南省総合体育館 駐車場付近				
協力団体					
参加人数	会員	28	名	→→ 会員参加率	63.6 %
	市民	200	名		
	その他	200			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	湖南省で開催される国スポ剣道競技のおもてなし事業として、参加いただく選手や、選手の応援でお越しいただく全国の方々に、湖南省の魅力を感じていただき、湖南省をより知っていただくとともに、お越しいただいた子どもたちを対象にした栄養指導を実施することで、食育による健全な青少年育成を実施します。また、メンバーの家族や従業員まで参画できる事業とし、ロータリーの理解を深めていただく機会としたい。 ・足湯（十二坊温泉の湯）：観光資源のPR ・飲食ブース（ご当地おにぎりなど）：食のPR ・石部宿の茶屋のようなブース ・湖南三山などの観光紹介：観光協会協力 ・子どもたちを対象とした栄養士による食の栄養指導：体型計測・スポーツトレーナー				
事業結果	湖南省で開催されました国スポ剣道競技のおもてなし事業として実施。お越しいただいた全国の方々に、湖南省の魅力を伝え、より知っていただく機会となりました。また、スポーツトレーナーによる健康指導を実施することで、健全な青少年育成につなげてまいりました。 【実施内容】 ・足湯（十二坊温泉のPR）：観光資源のPR ・飲食ブース（おにぎりなど）：食のPR ・石部宿の茶屋をイメージしたブース ・湖南三山などの観光紹介：観光協会協力 ・スポーツトレーナーによる健康指導 ：体型計測・健康指導				
新聞、TV等での報道	滋賀県のテレビ局びわ湖放送の取材と、地元ケーブルテレビあいコムこうかの取材をしていただきました。主に、足湯のブースに選手や応援に来ていただいた方々が入っていただいているシーンを撮影いただきました。				
事業予算	800,000	円			
事業執行額	873,500	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				



報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 辻 典子
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員長

事業名	フラワーボックスの生花提供事業				
実施日	通年	↑継続事業の場合	55年・31 年		
実施場所	JR草津駅・JR南草津駅				
協力団体	草津市花道協会・光泉カトリック中学・高等学校				
参加人数	会員	名	→→ 会員参加率		%
	市民	名			
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	駅利用者に憩いの場を提供することを目的とし、草津市花道協会、光泉カトリック中学・高等学校のご協力のもと、季節の生け花や作品の展示を行っています。				
事業結果	昨年度、草津駅設置のフラワーボックスが破損するというアクシデントがありましたが、それを機にボックスの修繕・塗り替えをし装いも新たに、駅利用者に憩いとくつろぎを提供しています。 この事業は50年以上継続されている事業で、私自身も子供の頃からこの草津駅のフラワーボックスの展示には慣れ親しんできました。長年地域に根差した奉仕活動をされてきた皆様に感謝の気持ちを込めて、この事業を次の世代に引き継ぎたいと思います。				
新聞、TV等での報道	 				
事業予算	150,000	円			
事業執行額	125,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 下村 一郎
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ごみゼロ(530)大作戦				
実施日	2026年5月30日		↑継続事業の場合	年	
実施場所	木浜湖岸周辺				
協力団体	守山市ごみ・水環境問題市民会議				
参加人数	会員	8	名	→→ 会員参加率	16 %
	市民	231	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	5月30日「ごみゼロの日」に行われた、木浜湖岸周辺の路上ごみの清掃活動を行いました。 これは「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例（クリーン条例）」により、環境美化の日として設定されている、5月30日（ごみゼロの日）、7月1日（びわ湖の日）、12月1日（県下一斉清掃の日）のうちのの一つとして実施され、湖岸における散在性ごみの一掃を図るために開催されました。 内容としましては、市で対象に定められている区域のごみ拾い清掃です。				
事業結果	当日集まったクラブメンバー8名で、湖岸のごみを歩いて収集を行いました。 メンバー以外にも多数の参加者がおられた事もあり、終了時には、始める前に見た景色からは、想像できないくらいに多くのごみが回収されました。				
					
新聞、TV等での報道	京都新聞にクラブメンバーの表記ではなく、会社役員としてメンバーとそのお子さんが記事として掲載されていました。				
事業予算	0	円			
事業執行額	0	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 下村 一郎
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ポリオデー IN 森フェス				
実施日	2026年5月24日	↑継続事業の場合	4	年	
実施場所	びわこ地球市民の森				
協力団体	びわこ地球市民の森2026実行委員会、滋賀県、守山市、(株)みらいもりやま21				
参加人数	会員	19	名	→→ 会員参加率	38 %
	市民	3300	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	『広げよう 育てよう みどりの輪』をメインテーマに開催される「びわこ地球市民の森のつどい」の趣旨に賛同し、市民との交流、公共イメージの向上に資するものとして、守山ロータリークラブの社会奉仕活動の一環として、森を楽しむイベントの一つである「高所作業車体験」の運営に協力します。 更に、体験ブースにロータリーのポリオ撲滅活動のパネル展示を行い、一般市民へのロータリークラブの公共イメージの向上と、募金活動を通じてポリオ撲滅活動への理解と協力を図ります。				
事業結果	お天気に恵まれ、早朝より沢山の方が会場を訪れていました。 当クラブが担当する高所作業車体験は、例年行列ができる人気ブースですが、今年は来場者が上手くばらけてくださり、長蛇になることなく、かつ列が途切れることなく、多くの方に楽しんでいただくことが出来ました。 体験後に、パネル横で景品(シャボン玉)を渡すことで、体験者、特に子供連れの保護者の方が熱心にパネルを見てくださり、ほぼ全ての方が募金に協力をしてくださいました。 お陰様で、7,705円の募金が集まり、ポリオプラスに送金することが出来ました。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	84,000	円			
事業執行額	56,614	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員会 委員長
 氏 名 : 中村 彰
 担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	長浜東ロータリークラブ創立50周年記念事業「未来に咲く平和の桜プロジェクト」		
実施日	2025年11月22日土曜日	↑継続事業の場合	年
実施場所	長浜市「臨湖」長浜市「豊公園」		
協力団体	長浜市、米原市、長浜市教育委員会、米原市教育委員会		
参加人数	会員 47 名 → 会員参加率 81 %		
	市民 106 名		
	その他 講師松井氏1名 事務局1名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	長浜市の歴史ある豊公園は、琵琶湖と伊吹山に囲まれた美しい自然環境の中に位置し、現在、新たな公園として生まれ変わる整備が進められています。この機会に長浜東ロータリークラブは、長浜市、米原市の小学生4年生から6年生とその保護者を対象に「神代曙桜」の記念植樹を実施しました。本事業を通して子どもたちに自然や環境保全の重要性を伝え、郷土愛を育む機会を提供することを目的としました。また、長浜東ロータリークラブ創立50周年記念事業と記念植樹を共に行い、地域の活性化を促進し、世代を超えた交流を深める場を創出することで、持続可能な地域づくりに貢献しました。		
事業結果	当日は、子ども64名、保護者42名、会員47名の計153名が参加し、地域一体となった事業となりました。 また、松井章泰氏による基調講演ならびに長浜市職員による豊公園の将来整備に関する講演を実施し、今後の地域づくりに対する理解を深める機会となりました。 植樹した「神代曙桜」は、今後の豊公園整備において重要な役割を担うものであり、地域の子どもたちと大人が共に植樹を行うことで、地域愛の醸成および地域への関心向上につながったと考えております。		
新聞、TV等での報道	京都新聞（デジタル）、 中日新聞、滋賀夕刊 記事掲載。		
事業予算	2,609,620	円	
事業執行額	2,609,620	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		



報告者	役	職	:	委員長
	氏	名	:	萩原 英樹
	担	当	委	員
	会	名	:	社会奉仕委員会

事業名	みんなでつなぐエコ奉仕 〜のぼり旗からナップサックへ〜			
実施日	2025年7月～2026年3月	↑継続事業の場合	年	
実施場所	長浜市内、旧伊香・旧東浅井地区			
協力団体	長浜市教育委員会、長浜市内（旧伊香・旧東浅井）小学校			
参加人数	会員	30	名	→→ 会員参加率 100 %
	市民	430	名	
	その他			
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他			
事業目的及び事業内容	地域資源の再活用と福祉支援、また子どもたちの学びをつなぐ社会奉仕活動を目指しました。具体的には地域のイベントなどで役目を終えた「のぼり旗」を回収し、障がいのある方々が働く作業所でナップサックへと再生。完成したナップサックは、長浜市内旧伊香・旧東浅井地区の小学校4年生の児童へ寄贈しました。 この取り組みは環境（リサイクル）・福祉（就労支援）・教育（社会学習）を同時に実現する循環型の奉仕活動として今後も続けていく予定です。			
事業結果	2026年2月下旬から全会員で手分けして各小学校を訪問。ナップサックを受け取った子どもたちに、この活動の背景や作業所での仕事について知ってもらうための説明動画をYouTubeにアップし、そのURLをQRコード化した資料を添えることにより、学校でも家庭でも視聴していただけるようにしました。また、今後の活動をより良いものにするため、教諭および児童の皆様へGoogleフォームでのアンケートを実施しました。アンケート結果は今後当クラブの奉仕活動に活かしていきたいと思ひます。			
新聞、TV等での報道	  2026年3月6日(金)中日新聞「びわ湖版」掲載			
事業予算	327,000	円		
事業執行額	348,248	円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他			

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 乾 哲典
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	北ノ庄沢の清掃		
実施日	2026年5月31日	↑継続事業の場合	24 年
実施場所	近江八幡市北ノ庄町 北ノ庄沢付近		
協力団体	R C C (ロータリー地域社会共同隊) 北ノ庄沢を守る会		
参加人数	会員 15 名 → 会員参加率 40 %		
	市民 15 名		
	その他 北ノ庄沢を守る会		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	北之庄沢を含む近江八幡の水郷が国の重要文化的景観第1号として指定されています。「北之庄沢を守る会」は平成12年北之庄町の有志で設立され、ゴミ収集を始め自然豊かな沢にするための活動を行っています。2004年には、当クラブと共同でロータリー地域社会共同隊(RCC)「北之庄沢を守る会」を設立し、当クラブも活動の清掃活動のお手伝いをさせていただいています。 近江八幡ロータリー社会奉仕協同隊(RCC)は2004年2月18日に設立総会を開催し、その後5年間を期限として「北ノ庄沢を守る会」と「近江八幡ロータリークラブ」が共同して水郷地帯の環境保全活動を実施し、今後も継続事業として活動をして行くこととしています。		
事業結果	北ノ庄沢を船の上からゴミ集め、と徒歩でゴミ集め、また沢の周りの除草作業などを行いました。 北ノ庄沢を守る会の皆さん地域の住民の方、近隣の事業所の方と一緒に作業を行いました。		
			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 坂口昌弘

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	未来に生かす地域振興事業		
実施日	募集11月1日～1月31日 ツアー実施日3月21日	↑継続事業の場合	年
実施場所	義仲寺、幻住庵		
協力団体	大津市、大津市教育委員会、大津の京阪電車を愛する会、幻住庵保勝会		
参加人数	15 名 → 会員参加率 12.3 %		
	市民 826 名		
	その他 市外投句者 216名 選句学識経験者 2名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	大津市は、豊かな自然環境と数多くの歴史文化遺産に恵まれ、松尾芭蕉ともゆかりの深い地域です。これらの文化資産を活用し、中学生・高校生が地域の歴史や自然への理解を深めるとともに、豊かな感性と想像力を育むことを目的として実施しました。 具体的には、俳句コンクールを開催し、若い世代が自らの視点で地域の魅力を表現する機会を提供しました。さらに、入選者を対象に芭蕉ゆかりの地である義仲寺および幻住庵を訪ねる「芭蕉をめぐるツアー」を実施し、芭蕉の足跡や作品に触れる機会を設けました。 これらの事業を通じて、大津市の魅力発信と地域の活性化に寄与する事を目指しました。		
事業結果	俳句コンクール 応募総数 1,042句 内 大津市外（県外含む） 216句 入選作 中学生の部 10句 高校生の部 10句 俳句コンクールには市内外の中学生・高校生から多数の応募があり、俳句の創作を通じて、大津市の豊かな自然や歴史文化、そして、松尾芭蕉に対する理解を深めることが出来ました。本事業を通じて、参加した生徒たちの大津の地域に対する理解と愛着が深まり、郷土の歴史文化を次世代へ継承する意識の醸成に繋がりました。大津ロータリークラブの社会奉仕事業として、地域の文化振興と青少年育成に寄与するとともに、大津市の魅力を広く発信する機会となりました。 表彰式  義仲寺にて 		
新聞、TV等での報道	びわ湖放送 「金曜オモロしが」 NHK 「おうみ630」 京都新聞 		
事業予算	800,000	円	
事業執行額	765,372	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 会長
氏 名 : 山本 進一
担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	「豊かで美しい琵琶湖を未来へつなぐプロジェクト」～自然と共生する社会にむけて			
実施日	2025. 10. 26～2026. 3. 15		↑継続事業の場合	年
実施場所	大津市立平野小学校、学習船メグミ号、滋賀県立琵琶湖博物館、大津港ターミナル（待合室）			
協力団体	滋賀県（後援）、琵琶湖博物館、大津市立平野小学校、大津市平野学区自治連合会、大津市平野学区青少年育成学区民会議			
参加人数	会員	17	名	→→ 会員参加率 81 %
	市民	2271	名	
	その他	小学生1,089人、観光客約2,000人		

事業分野 ☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他

事業目的及び事業内容

琵琶湖の水環境や水辺の生物に関心を持ってもらうため、次代を担う子供たちを対象に琵琶湖にふれて湖上や琵琶湖博物館で環境学習を行うと共に、琵琶湖に住む多くの在来魚(61種類)を知ってもらう事を目的に、学校や地域イベントなどの子供たちが集う場所に出向いて行う移動水族館を「水の無い水族館」と銘打って開催した。また、40周年記念事業で設置した「BIWAKOモニュメント」のある琵琶湖の玄関口・大津港において、その一周年を記念して「水の無い水族館」を展開し、より多くの人達に観覧してもらい、国民的資産と位置付けられた琵琶湖の大切さを発信した。

事業結果

滋賀県の後援を得て琵琶湖環境部と琵琶湖博物館の協力のもと環境学習を行うと共に、このプロジェクトが今、県が取り組んでいる琵琶湖版SDGsマザーレークゴールズに合致することから「MLGs」ロゴマークの使用許可など支援いただいた。また、エコスクール活動として地元の津市立平野小学校とその学区の自治連合会や青少年育成学区民会議、まちづくり協議会などと連携して実施できた。



新聞、TV等での報道

- ・「水の無い水族館」が京都新聞の3月13日（金）朝刊に陶芸湖魚多様な生態系伝える記事が記載された。
- ・「水の無い水族館」が第71回びわ湖開きのリーフレットで紹介される。

陶製湖魚 多様な生態系伝え
大津港で展示「水の無い水族館」

琵琶湖の生態系に関心を持ってもらうため、次代を担う子供たちを対象に琵琶湖にふれて湖上や琵琶湖博物館で環境学習を行うと共に、琵琶湖に住む多くの在来魚(61種類)を知ってもらう事を目的に、学校や地域イベントなどの子供たちが集う場所に出向いて行う移動水族館を「水の無い水族館」と銘打って開催した。また、40周年記念事業で設置した「BIWAKOモニュメント」のある琵琶湖の玄関口・大津港において、その一周年を記念して「水の無い水族館」を展開し、より多くの人達に観覧してもらい、国民的資産と位置付けられた琵琶湖の大切さを発信した。

琵琶湖の生態系に関心を持ってもらうため、次代を担う子供たちを対象に琵琶湖にふれて湖上や琵琶湖博物館で環境学習を行うと共に、琵琶湖に住む多くの在来魚(61種類)を知ってもらう事を目的に、学校や地域イベントなどの子供たちが集う場所に出向いて行う移動水族館を「水の無い水族館」と銘打って開催した。また、40周年記念事業で設置した「BIWAKOモニュメント」のある琵琶湖の玄関口・大津港において、その一周年を記念して「水の無い水族館」を展開し、より多くの人達に観覧してもらい、国民的資産と位置付けられた琵琶湖の大切さを発信した。

事業予算 総予算額：805,000円 円

事業執行額 RC支出額：323,600円 円

この事業の主な財源 (複数回答可) ☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他

報告者 役 職 : 会長

氏 名 : 中森康徳

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ロータリークラブ情報発信YouTube番組 びわモニ・ロータリーDAY		
実施日	2025/9/17~2026/5/27の間 5回放送	↑継続事業の場合	年
実施場所	大津市JR石山駅前 スタジオユーストンより生配信		
協力団体	ユーストン、大津RC、大津中央RCをはじめ滋賀県下RC多数など様々な団体		
参加人数	会員 のべ21 名 →→ 会員参加率 80 %		
	市民 11 名		
	その他 滋賀県下ロータリアン 9		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ロータリークラブの素晴らしい活動を広く一般の方々に知っていただくためのYouTube番組を2025年9月から5回にわたって制作・配信。「ロータリーを知ろう」のコーナーでロータリークラブがどのような団体なのかを知っていただくことをはじめ、今年度に滋賀県下RCで行われる「奉仕事業の紹介」、大津東RC会員による職業奉仕を活かした「プロが解説する耳より情報」、社会奉仕の一環として、滋賀県内で様々な活動をしている団体などに出演していただくコーナーなどを設け、1回の放送で約90分間にわたって情報発信を行いました。		
事業結果	ロータリークラブを知らない一般の方々に向けて、少しでもロータリークラブを知っていただく機にとなったと思われる。滋賀県下の多数のクラブのロータリアンが地域貢献として行っている奉仕事業を紹介することで、ロータリークラブが長い年月にわたって自分たちの地域に奉仕を行っていることを知っていただくことができた。 また滋賀県内の様々な団体の活動をPRできたことで、彼らの活動の認知向上と活動の励みに貢献できたと思われる。 さらにこの番組は現在もアーカイブで視聴することができ、ロータリーの公共イメージのアップにも貢献できたと思う。		
新聞、TV等での報道	 		
	今回の奉仕事業自体を他のメディアで告知はできていませんが、そもそもこの番組自体が新しい時代のメディア発信であり、ロータリークラブもこのような発信を積極的に活用することも必要ではないかと考える。		
事業予算	275,000	円	
事業執行額	275,000	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役	職	:	社会奉仕委員長
	氏	名	:	津田 正治
	担	当	委	員
	会	名	:	社会奉仕委員会

事業名	仰木西公園清掃				
実施日	2026年4月2日	↑継続事業の場合	40年以上年		
実施場所	大津市仰木の里1丁目				
協力団体	大津衛生社・志賀衛生社				
参加人数	会員	18	名	→→	会員参加率 94.74 %
	市民		名		
	その他	業者3名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	毎年仰木の里にある仰木西公園の清掃事業を4月に実施しています。				
事業結果	30個近くのごみ袋ができました。 全て衛生社さんのご協力のもと清掃車に収集して頂きました。 清掃後は落ち葉もなくきれいになりました。				
新聞、TV等での報道	なし				
事業予算	3,000	円			
事業執行額		円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 南 新介

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「栗東市中学生地域活動サポーターズクラブ」活動プロジェクト		
実施日	通年	↑継続事業の場合	年
実施場所	栗東市内 地域クラブ活動		
協力団体	栗東青年会議所・栗東市スポーツ協会・栗東市文化協会・栗東市スポーツ少年団・栗東市教育委員会		
参加人数	会員 60 名	→→ 会員参加率 100 %	
	市民 69 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	近年、中学校教職員の働き方改革の推進に伴ない、中学部活動の廃部や休部が全国的に進んでおり、その結果スポーツや文化に取組みたい生徒たちは、月謝等を負担しながら地域クラブや民間教室へ通うケースが増えているのが現状です。しかしながら、このような地域移行の実態や課題については、まだ十分に市民へ認識されているとは言えません。そこで、地域でボランティアとして活動されている指導者やクラブを支援を目的とした「栗東市中学生地域活動サポーターズクラブ」を立上げ、将来に向けた持続可能な地域活動組織の構築を目指し、初期段階における人的・物的・資金的支援を行うことで、子どもたちが安心してスポーツ・文化活動に取り組める環境づくりのサポートを行う。		
事業結果	栗東ロータリークラブを中心に、栗東青年会議所、栗東スポーツ協会、栗東市文化協会、栗東スポーツ少年団、栗東市教育委員会との協議、調整を重ね「栗東市中学生地域活動サポーターズクラブ」を立ち上げた。その中心的役割は社会奉仕委員会が担い、地域一体となった支援体制の構築に努めた。 4月には、栗東市教育委員で現役教師による卓話を開催し、栗東市における中学校部活動の現状や、今後の地域移行の方向性について説明頂いた。また栗東ロータリークラブメンバーへの「栗東市中学生サポーターズクラブ」への入会を呼びかけた結果、多くの会員が賛同・入会し地域全体で子どもたちを支える支援の輪を広げることができた。 さらに栗東市内の3つのスポーツクラブに対して物的支援を実施し、活動環境の充実に寄与するとともに、地域クラブ関係者への心的支援にもつながる有意義な活動となった。		
新聞、TV等での報道	 		
	6/23日 栗東市役所にて「栗東市中学生地域サポーターズクラブ」設立の記者発表を実施致します。京都新聞、マスコミ他 来所予定です。		
事業予算	800,000	円	
事業執行額	766,384	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	: 社会奉仕委員会 委員長
氏 名	:	高橋賢一
担当委員会名	:	社会奉仕委員会

事業名	高島の『食』を育て、『居場所』を守り、『笑顔』を作る。				
実施日	2025年8月～11月		↑継続事業の場合	年	
実施場所	高島市鹿ヶ瀬地区および新旭ショッピングセンターエスパ他				
協力団体	高島市中溝営農組合、高島市社会福祉協議会、新旭駅前ふれあい食堂実行委員会、市内保育園				
参加人数	会員	41 名	→→ 会員参加率	80 %	
	市民	約400 名			
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
耕作放棄地の有効活用を実施されている営農組合の方々や、住民の居場所づくりに尽力している方々と共に「食べる事は生きること」を学び、子供たちに農業体験を通じて食育を、そして収穫したお米を市内で居場所づくり活動をされている団体すべてに提供して、この地域の豊かさを感じてもらうことを目的とする。 また、新旭駅前ショッピングセンターエスパにてボランティア団体が主催し、毎月開催されている「ふれあい食堂」ではかき氷を来場者に振る舞いロータリークラブの公共イメージ向上を図る。					
事業結果					
			農業体験を通じて農業の大切さ大変さを感じてもらえたと思う。また、収穫したお米を高島社会福祉協議会を通じて市内の「子供食堂」や「ふれあい食堂」に提供したことや、新旭駅前「ふれあい食堂」でのかき氷の提供によりロータリークラブの公共イメージが向上したと思われるし、我々ロータリアンもボランティア活動をされている方々や団体に対する敬意が更に深まった。		
新聞、TV等での報道					
新聞折込チラシに「Takashima Rotary Club News」として高島市民に配布					
事業予算	941,010		円		
事業執行額	941,010		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 奥野 孝史

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	活動エリア除草作業				
実施日	11月 6月	↑継続事業の場合		年	
実施場所	市内3か所				
協力団体	なし				
参加人数	会員	26	名	→→ 会員参加率	76 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	活動エリアの景観および地域環境の整備を目的として、過去野洲ロータリークラブが寄贈されたモニュメント3か所周辺の除草作業を行いました。また、ロータリーロゴの入ったユニフォームを全員が着ることで、3か所同時にPRできました。				
事業結果	毎年のことではあるが、続けていることで、ロータリーの認知がアップしております。ロゴを見せることも大事だと思います。もちろん、景観も良くなり、まちはきれいになりました。   				
新聞、TV等での報道					
事業予算	10,000	円			
事業執行額	14,610	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 委員長
 氏 名 : 奥野 孝史
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	活動エリア除草作業				
実施日	6月 7月		↑継続事業の場合	年	
実施場所	市内3か所				
協力団体	なし				
参加人数	会員	21	名 →→ 会員参加率	62	%
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	年度2回目の除草作業奉仕になります。活動エリアの景観および地域環境の整備を行いました。今回は、草はもちろん、伸びきった木の枝をはらい更に景観が良くなりました。寄贈モニュメントの3か所もすっきり見えるようになりました。また、ロータリーロゴの入ったユニフォームを全員が着ることで、3か所同時にPRできました。				
事業結果	毎年のことではあるが、続けていることで、ロータリーの認知がアップしております。ロゴを見せることも大事だと思います。もちろん、景観も良くなり、まちはきれいになりました。     				
新聞、TV等での	 				
事業予算	10,000		円		
事業執行額	14,610		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 喜多 良道

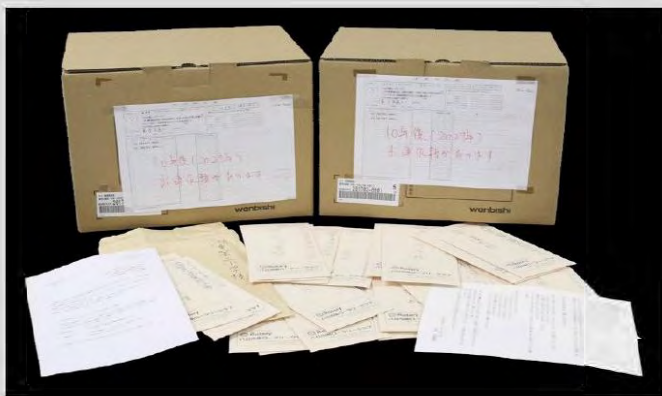
担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ラチーノ学院 畑造成事業		
実施日	2025年 11月 12日	↑継続事業の場合	年
実施場所	ラチーノ学院		
協力団体	地元 甲津畑自治会		
参加人数	会員 21 名 →→ 会員参加率 55 %		
	市民 5 名		
	その他 ラチーノ学院 生徒 200名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ラチーノ学院は準学校法人であるため、学校給食制度の対象とならず、給食に必要な食材等を自ら確保する必要があります。物価高騰が続く中であっても、学院では生徒たちに栄養バランスの取れた充実した給食を提供できるよう、日々努力を重ねています。 そこで、給食のさらなる充実を図るため、野菜畑を整備し、学院関係者や生徒たちが自ら野菜の栽培・収穫に取り組むことで、新鮮な食材を給食に活用し、その充実を支援することを目的とします。		
事業結果	  約200名のブラジル人の生徒たちが、整備された畑で自ら栽培した野菜を朝食や昼食の給食として食べることができるようになり、食生活の安定と食育の推進に寄与することが期待されます。さらに、日本で栽培された野菜を味わうことを通じて、日本の食文化への理解を深めることにもつながります。加えて、地元農家の皆様との交流や協力関係を築くことで、ラチーノ学院と地域社会との結びつきがより一層強まり、多文化共生の推進にも大きく貢献するものと考えます。		
新聞、TV等での報道	滋賀報知新聞、中日新聞		
事業予算	1,305,738	円	
事業執行額	1,305,738	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 喜多 良道

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	「10年前の私からの手紙」事業				
実施日	2026年4月22日	↑継続事業の場合		年	
実施場所	例会場				
協力団体	株式会社ワンビシアーカイブズ関西センター				
参加人数	会員	名	→→ 会員参加率	%	
	市民	名			
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
10年前、創立20周年記念事業として、東近江市内22校の小学4年生1,196名を対象に、「10年後の自分へ」をテーマとした手紙作成事業を実施した。 本事業は、アナログ社会からデジタル社会への移行が進む中、手紙を書くという体験を通じて、自らの将来について考え、10年後の自分へ思いを託していただくことを目的として実施したものである。 作成された手紙は10年間保管し、創立30周年記念事業の一環として、2026年4月に成人を迎えた対象者へ発送した。					
事業結果					
			対象者にとっては、小学4年生当時の自分自身の夢や希望、将来への思いを振り返るとともに、この10年間における自身の成長や社会環境の変化を見つめ直す機会となった。また、SNSをはじめとするデジタルコミュニケーションが急速に普及した現代において、手書きの手紙が持つ価値や意義を再認識する契機にもなった。 本事業は、過去の自分と現在の自分をつなぐ貴重な機会を提供するとともに、創立20周年から30周年へと受け継がれる継続的な記念事業として実施することができた。		
新聞、TV等での報道					
滋賀報知新聞、中日新聞					
事業予算	172,284	円			
事業執行額	172,284	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 喜多 良道

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	Consider Rotary ～一人ひとりが考えよう～ 社会奉仕事業の在り方について		
実施日	2025年10月1日から11月30日	↑継続事業の場合	年
実施場所	例会場		
協力団体			
参加人数	会員 45 名 → 会員参加率 100 %	市民 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
会長所信に掲げる「原点回帰」と「未来進化」の考え方にに基づき、当クラブの社会奉仕活動の在り方を見つめ直す機会として、創立30周年記念事業の一環として情報集会を開催した。今一度クラブの原点に立ち返り、これまでの歩みを振り返るとともに、将来に向けたクラブのあるべき姿、すなわち「未来進化」の姿を会員相互で議論することを目的としたものである。30周年という大きな節目を迎えたいま、あえて立ち止まり、先人たちが築いてきた歴史と伝統に思いを馳せながら、その成果をいかに未来へつなげていくかを考える機会とした。また、「自分はどのようなロータリアンでありたいのか」「私たちのクラブはどのようなクラブであるべきか」という本質的な問いについて、一人ひとりがじっくりと考え、語り合う場となり、会長所信の「Consider Rotary」を具現化するものであり、クラブのさらなる発展と未来への礎を築く周年事業を目指した。			
事業結果			
情報集会の開催にあたり、社会奉仕委員会において事前に進め方や討議テーマについて協議を重ね、会員がクラブの社会奉仕活動について多角的かつ本質的に考察できるよう論点を整理した。 まず、社会奉仕活動を大きな視点から捉え、次のような根本的なテーマについて議論を行った。 【社会奉仕活動を大きく捉える視点】 ① なぜ八日市南ロータリークラブは社会奉仕活動を行うのか。 ② どのような社会奉仕活動が地域社会に求められているのか。 ③ 社会奉仕活動は、地域社会にどのような価値をもたらし、実際に役立っているのか。 続いて、より具体的かつ分析的な視点から、今後の社会奉仕活動の方向性について検討を行った。 【社会奉仕活動を分析的に考える視点】 ① 活動の対象は誰か。市民全体、各種団体、個人など、どこに支援の焦点を置くべきか。 ② 活動期間はどの程度が望ましいか。単年度事業とするのか、継続的な事業として取り組むのか。 ③ 活動の方法はどのようなものが適切か。物品寄贈、寄付金支援、会員自らが主体的に行動する活動、あるいは各種団体への支援など、どのような手法が効果的か。 ④ これまで八日市南ロータリークラブが実施してきた社会奉仕活動の中で、今後も継承・発展させるべき事業は何か。 社会奉仕委員会委員が進行役となり意見交換し、討議内容は議事録として整理したうえで例会において発表し、会員全体で共有した。創立30周年という節目にあたり、これまでの社会奉仕活動を振り返るとともに、未来に向けた奉仕の在り方を考える貴重な機会となった。			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

国際ロータリー第 2650 地区
2025-26 年度 社会奉仕委員会

諮問委員・パストガバナー	佐竹 力總	(京都 RC)
委 員 長	宮倉 靖幸	(五條 RC)
副委員長	桐木 孝和	(京都洛西 RC)
副委員長	小牧 靖彦	(京丹後 RC)
委 員	藤井 弘実	(近江八幡 RC)
委 員	市原 洋晴	(宇治 RC)
委 員	木村 元	(長浜東 RC)
委 員	松村 美貴	(福井フェニックス RC)
委 員	大島 國裕	(奈良 RC)
委 員	寺本 光宏	(福井 RC)
委 員	八木 悠祐	(京都北 RC)
委 員	山崎 功詔	(京都西 RC)